



記念の盾を手に受賞を喜ぶ樋田教授

た。樋田教授は「女性研究者として、一度いただきたい賞だった。助成金を使っ

て、新たな成果を上げられれば」と喜んだ。

伊達市出身。双子の子供を育てながら研究を続け、今年5月に北大の歯学部や同研究院では初めての女性教授に就いた。樋田教授は「女性が子育てをしながら、研究できる環境づくりにも力を尽くしたい」と語った。

(拝原稔)

新たながん治療に光 北大樋田教授を表彰 資生堂

資生堂が自然科学分野で指導的役割を担う女性に贈る「女性研究者サイエンスグラント」の授賞式が6日、東京都内で開かれた。受賞者10人のうち、道内関係では北大大学院歯学研究院の樋田京子教授(51)＝血管生物分子病理学、札幌市東区在住＝が選ばれ、助成金100万円が贈られた。

樋田教授は、抗がん剤が効かなくなる原因が、がん細胞だけでなく、血管にもあることを発見。新たな治療法につながる可能性があり、今回の受賞につながっ